

NEWS

協会設立30周年事業及び 「一般社団法人 愛知県産業資源循環協会」への 改称のご報告

昭和51年（1976年）当協会の前身である「愛知県産業廃棄物処理事業協同組合」（初代会長 故清水善一氏）が発足しました。

平成3年（1991年）協同組合を解散し「社団法人 愛知県産業廃棄物協会」（協会員386名）を設立しました。

同時に5つの専門委員会が設置され、各委員会主催による施設見学会、講習会、行政との意見交換会などの活動が始まりました。

平成24年（2012年）公益法人制度改革に伴い一般社団法人に移行し「一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会」となりました。

令和3年1月1日付けで、より一層の資源循環の担い手となるよう協会名を「一般社団法人 愛知県産業資源循環協会」と改称しました。

協同組合発足から45年の歴史を持ち、社団法人設立から30年、社会的責務を果たすための公益事業を柱とし、生活環境の保全と公衆衛生の向上並びに資源の効率的活用を図り、県民の福祉向上に寄与することが目的であることは、現在においても変わりありません。

改称となった“廃棄物”から“資源循環”の背景には、循環型社会の形成の観点から、天然資源の消費を抑制しつつ、循環資源を有効に利用していくことが求められており、資源循環型社会経済へ向けた切り替えが大きな課題となっています。

また、廃棄物発生量の増加は、最終処分場の逼迫、有害物質の環境への流出等の様々な環境問題を引き

起こします。

持続可能な生産・消費の実現には、これらの環境負荷を最小限に抑えることが必要です。

産業廃棄物処理業界は適正処理推進と循環型社会構築という重責を担い、加えて循環資源や再生可能エネルギーの供給等の新たな役割を果たすことが求められているため、廃棄物という認識ではなく資源として循環していく取り組みを名称の一部に明示いたしました。

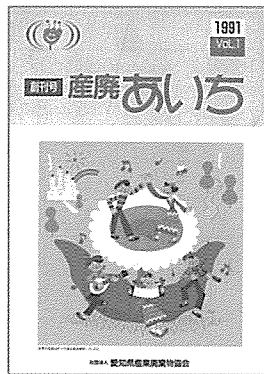
協会設立30周年記念にあたり令和元年8月より「30周年プロジェクト委員会」（委員長 中野兼司氏、副委員長 新美三良氏、委員10名）が設置され、令和2年12月まで記念事業の内容について9回の委員会が開催されました。

委員会では記念事業の目的、テーマ、記念講演会・式典についてなどの話し合いが行われました。

目的及びテーマでは、協会の様々な活動はSDGsに大きく関わっているため、中野委員長から「SDGsに関わる方向性はどうですか。」との提案を受け、委員会で討議を重ね、メインテーマ『未来のために私たちができること』、サブテーマ『環境と調和そして共存へ』が満場一致で決まりました。

30周年の記念品として、バナナペーパーで作成した「SDGsノート」・「SDGsカレンダー」、「愛産協バッジ」及び「山海豆」（豆匠豆福）を配布しました。「30周年記念誌」は6月発行する予定です。

30周年記念として作成した「愛産協バッジ」は、SDGsのロゴがプラスされた新しいデザインとなり2030年のゴールに向けて胸元で輝きます。



平成3年発行
「産廃あいち」創刊号
愛産協HPにて閲覧できます。

協会設立30周年記念表彰

(公社) 全国産業資源循環連合会会長表彰

功労者	
永井 良一	永一産商株式会社

(一社) 愛知県産業資源循環協会会長表彰

役員功労者	
新美 三良	有限会社三洋サービス
伊藤 泰雄	株式会社ダイセキ
平沼 辰雄	株式会社リパイプ
新家 義彦	有限会社ホクトサービス
中野 兼司	株式会社東伸サービス
金田 英和	サンコーリサイクル株式会社
石山 進	株式会社エヌジェイエス
梅村 正裕	株式会社鈴鍵
近藤 千雅	中部保全株式会社
故小島 晃	元 株式会社明輝クリーナー

支部長功労者	
清水 善実	株式会社シミズ
富田 昭夫	株式会社富田商店
竹内 良一	名環サービス株式会社
金田 英治	三洲土木株式会社
天野 邦彦	岡崎技研株式会社
梅谷 岳志	有限会社花丘商事
長崎 正敏	株式会社トヨジン
松井 忠博	有限会社松井工業
鬼頭 秀幸	有限会社リサイクリング産業

青年部会長功労者	
浅井 明利	有限会社浅井商店
永田 幹人	株式会社エイゼン
近藤 大樹	中部保全株式会社
金田 琳	サンコーリサイクル株式会社

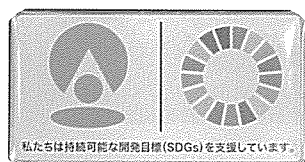
女性部会長功労者	
東久保 真弓	有限会社愛知環境センター

なお、新デザインの「愛産協バッジ」は事務局にて販売しております。購入希望の方は気軽にお尋ねください。

1月29日に予定されていた記念式典、記念講演会は、新型コロナウイルス感染拡大により令和3年1月13日愛知県において緊急事態宣言が発出されたため中止となり、会員の皆様には大変ご心配をおかけしました。

これからも協会事業・支部事業においてSDGsの目標を定めた事業を展開し、より多くのゴールを目標として掲げ、次世代に誇れる10年後の日本に向けあゆみ続けてまいります。

記念品として配布された品



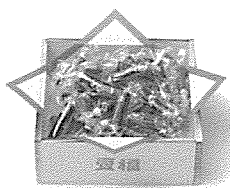
令和3年1月からの「愛産協バッジ」



SDGs ノート



SDGs カレンダー



山海豆 / 豆匠豆腐